

令和4年度 学校評価報告書

学校名	三田市立あかしあ台小学校
-----	--------------

1 学校教育目標

2 今年度の学校重点目標

こころ豊かに たくましく生きる 子どもの育成

- 1 「確かな学力」の育成 2 「豊かな心」の育成 3 「健やかな心」の育成
- 4 多様な教育的ニーズに応じた教育の推進 5 開かれた学校づくりの推進

3 総合的な自己評価

4 総合的な学校関係者評価

学校運営については、「学校・家庭・地域が連携して、子ども達を見守り育てている。」「学校生活を通して、心豊かにたくましく生きる子どもの育成がなされている。」の項目において、96 から 97%の肯定的評価を得ている。地域との連携も深まり、教育活動等において信頼と協力を得ることができている。今後は、コロナ後の方向性を示し、学校運営を進めていくことが重要である。

コロナ禍の中、制約の多い中でも行事などを工夫し、子どもたちは意欲的に参加していた。また、どの学年でも落ち着いて学習に取り組んでいた。コロナ禍当初に比べ、登校時の子どもに、いい表情が見られるようになり、生きていく力が向上していると感じる。保護者や地域については、今年度も引き続き学校に対する信頼感が高いと感じられた。課題については、挨拶の定着が進んでいると感じているが、今後さらにつながりが必要となる地域全体の課題ともいえる。今後も課題解決に向けて、学校・保護者・地域が連携して、子どもたちを育てていこうとする取組をさらに進めていく必要がある。

5 評価結果

自己評価		学校関係者評価		
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
組織運営	学校教育目標、学年・学級目標の実現をめざして、組織的かつ適切に教育活動を進めているか。	教育目標達成に向けて、日常生活と関連づけながら取り組みを進めることができた。	学校教育目標を基準にして、各学年目標を共通理解し、より具体的な取り組みを行っていく。	学校教育目標に向かって、各学年具体的な目標を掲げて、着実に子どもたちへの教育、保護者への対応がなされている。授業参観、運動会や音楽会では、まだまだ制約がある中でも工夫を凝らし、どの学年も児童が楽しみと達成感を得られるものだった。
	開かれた学校づくりのために、学校の情報が保護者・地域に積極的に発信され、相互の信頼関係が構築されているか。	見守りボランティアさんとの意見交換会を開き、地域の方からのご意見をいただき、連携を深めることができた。	地域の方との交流や学校から積極的な情報発信を更に深めていき、学校運営を進めていく。	地域コーディネーターが学校支援ボランティアとのパイプ役となり、子どもの見守り等で相互の連携と信頼関係が維持されていて、地域の人が学校の活動に関わる機会が多く、開かれた学校になっている。ボランティア交流会を継続させ、連携を深めてほしい。
教育課程・学習指導	学習指導要領及び年間指導計画に基づいた各教科等の指導が適切に進められ、基礎・基本的な学力の定着が図られているか。	学校行事の予定を変更したことからカリキュラムの見直しを随時行った。難しい環境の中で、授業内容を工夫し、履修達成することができた。	あかしあタイムも含め、授業時数の確認を行い、各教科の授業時数の確保の適正に努め、学力の定着を図る。	まだまだ制約が多い中で、授業時数の確保等、適正に実行されている。今後は、書くことや読むこと等、基礎的な学力が十分定着するように、よりきめ細やかな指導の充実を期待している。しかしながら、先生方の行き届いた指導と努力をありがたく思う。
	児童の特性や教育的ニーズを把握し、個に応じた指導や配慮・支援体制を充実させているか。	コーディネーターを中心に、外部関係機関との連携を図り、手立てについての示唆を得ることができた。	職員の共通理解を図るため、研修会を有意義なものとし、更なる支援体制の充実を目指す。	コーディネーターを中心に、周りの先生方ともよく連携ができており、情報共有が進んでいるように感じた。支援体制については、今後さらなる充実を期待している。
生徒指導	自らあいさつができる児童を育て、他者との円滑なコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に取り組んでいるか。	全校朝会や委員会、学級指導などを通して、意識的に挨拶している児童が増えた。	児童会活動での取り組みや授業の中での協働学習を今後も継続していく。	児童から自然な挨拶をしてくれているという意見もあるが、朝の挨拶が気になるという意見もあった。児童会主催の「あいさつキャンペーン」の取り組みは、とても評価が高かった。他学年との交流活動が制限され、他者と関わる機会が減ったため、関係づくりについては、困難であったと思う。今後は、児童会活動での取り組みや、授業の中での協働学習の充実を期待している。
	いじめ防止基本方針の下、指導体制を整え、児童の小さな変化を見逃さず、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいるか。	情報共有し、複数での指導体制を実施し、解決策を探った。報告のスピードとSSWとのさらなる連携が今後の課題である。	教師間、関係機関との連携を図り、組織的対応を更に充実させるとともに、個別指導の対応力を高めていく。	情報共有され、連携体制が整っているのは安心できる。担任一人で抱え込むことのないよう、組織的に今後も対応していただきたい。特に新たに、コロナへの人権的な配慮も増えてきている。いじめも含め、しっかり子ども目線での対応をお願いしたい。SSWについては、学校への配置を希望する。
特別支援教育	個々の子ども達の特性に応じた指導体制や指導方法を工夫しているか。	アセスメントの視点をいかし、個別の指導計画を作成し、効果的な支援・指導方法の共通理	児童の課題の多様化に伴い、多様化する教育的ニーズに対応していくため、より一層の連携が必要とな	先生方が一人一人にきめ細やかに対応している姿がよく見受けられます。とてもありがたいし、すごいことだと思う。しかし関わる支援の先生方の人員が足りていないように感じる。これからも保護者の方に寄り添いながら子どもたちの

		解を図った。指導補助員・学校生活支援教員を活用し、個に応じた指導に取り組んだ。	る。	成長への支援をお願いする。
	障害のあるなしに関わらず、共に学ぶ中で、個性や特性を認め合い、支え合おうとする共生の心を育む指導に取り組めたか。	配慮の必要な児童に対しての引継ぎを重視しながら、きめ細やかな取り組みを進めることができた。しかし、周囲の児童については、共生な心を十分に育むことができなかった。	職員研修を継続し、一人一人を大事にした学級づくりをしているか、お互いの個性を認め合うクラスづくりをしているか、子どもどうしをつなげるクラスづくりをしているか、差別を見逃さず指導ができていないかなどを、自分自身の指導を見直していくと共に、学校全体で子どもを育てていく意識を持つ。	個々の子どもたちへの丁寧な対応により、子どもたちの発達が見守られている。周りの子どもたちも教室の仲間として自然に受け入れているように見受けられる。子どもたちが成長し、長い人生をあかしまいの中で、差別されることがなく幸せに過ごせるよう環境整備することが、地域の課題であるように考えている。
研究・研修	研究主題や実践目標の実現に向け、全職員が協働して主体的、積極的に研究を進めているか。	コロナ禍の中、授業においては、制約はあったものの、協働的な学びが広がりつつある。一方で、教職員については、様々な研修を通して、活用スキルが大幅に向上している。	研究の意義や進め方について、共通理解を図り、個々の教員が実践することを通して、さらに深めていきたい。	今年度よりICT機器活用に重点を置き、将来、社会で必要な力を学び、蓄積できる機会を増やすことは素晴らしい。一方で、先生方に膨大な時間と労力を費やしていないか気になる。今後は、協働的な学習での活用を推進するとともに「書くこと」と「読むこと」にも注目するなど、デジタルとアナログの両方の良さを生かした取り組みを進めることから学力向上に努めてほしい。
	自らの資質向上のために研修に取り組む、日々の実践の分析・評価及び指導方法の工夫・改善に努めているか。	研修会により、ICT機器を効果的に活用することを含め共通理解を図ることができ、資質向上にもつながった。	今年度に集まった事例をもとに、さらにICT機器の活用を進め、協働的な学びの実現に取り組んでいく。	研究や研修等の資質向上がより充実するとともに、働き方改革を進め、教職員の心身ともに健康で、子どもたち一人一人に関われる時間の確保も大切にしたい。そのために校務のデジタル化を一層進めてほしい。
保護者・地域住民との連携	地域人材(学校支援ボランティア等)を活用した教育活動が展開されているか。	地域コーディネーターとの連携を密にし、学校支援ボランティアを活用した有意義な教育活動ができた。	継続した地域コーディネーターや学校地域運営協議会との連携の充実を図る。 学校運営協議会への移行も進めていく。	家庭科、給食、校外学習ボランティアなど、地域人材を活用した学習ができている。今の状況でも、配慮しながら上手く、地域人材を活用できる活動に取り組めた。地域の人々も高齢者が増え、無理のないボランティアができればと思う。

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
令和4年7月	前期児童アンケート実施
令和4年12月	後期児童アンケート・保護者アンケート実施
令和5年2月	学校評価の結果・分析をもとに成果と課題の検証

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
令和4年7月7日	第1回学校地域運営協議会(学校経営方針等について意見交換)
令和4年11月24日	第2回学校地域運営協議会(取組、アンケートについて意見交換)
令和4年5月28日	運動会(児童の様子を参観)
令和4年10月29日	音楽会(児童の様子を参観)
令和4年11月10日	こころ参観(人権参観日)
令和5年2月17日	授業参観
令和5年3月2日	第3回学校地域運営協議会(学校評価結果に基づく成果と課題等について意見交換)

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
令和4年11月	学校だより	前期児童アンケートの結果と考察を掲載した学校だより「学校評価特集号」を全家庭に配付	資料1
令和5年3月	学校だより	後期児童・保護者アンケートの結果と考察及び学校地域運営協議会委員の意見を掲載した学校だより「学校評価特集号」を全家庭に配付予定	
令和5年3月	学校ホームページ	学校だより「学校評価特集号」を掲載予定	